



年頭に当たって

当社 取締役社長 上杉 登

新年明けましておめでとうございます

年末・年始にかけて、全国的に穏やかな天気でした。皆さまにおかれましては、爽やかなお正月を迎えられたこととお慶びを申し上げます。

さて、今年から来年にかけての世の中の動きを見てみますと、国際的には、フランス大統領選挙・韓国大統領選挙などが予定されておりますが、08年の米国大統領選挙・ロシア大統領選挙を控えた前哨戦が賑やかになる予感がします。

経済的にはブラジル・ロシア・インド・中国の存在感が深まる年でもあります。9月には日中国交正常化35周年を迎えますが、来年の北京オリンピックを控えて友好ムードが醸成されると思います。また、アジア域内ではF T A（自由貿易協定）促進が最大の課題となります。

国内では、4月の統一地方選挙、7月の参議院議員選挙が予定されており、将来の道州制導入を視野にいった地方活性化の議論が盛んになると思われます。経済では、国内金利が上昇するのは間違いありませんが、恐らく緩やかな利上げに止まるでしょうし、為替もインターネット普及による市場拡大で乱高下がおきにくい状況下110～125円の間で上下すると観測する方が多いようです。言い換えると安定感漂う全般的な経済環境とも言えるかと思います。

今年の**経済活動のキーワード**は“**D・N・A**”と言われております。「D」は4月以降の団体大量退職のD、「N」は08年4月から施行される内部統制のN、「A」は英語のACQUISITION（統合・吸収）から引用したのですが、5月の三角合併解禁（外資も株式交換で日本企業買収が可能となる）で企業間のM & Aが増えるだろうと言われております。**農業界のDNA**は何か。「D」はドラステック（＝思い切った）な農産物流通改革でしょう。市場のセリ比率の低下が加速し、産直・契約栽培比率が急速に伸長すると思われます。「N」は担い手問題でしょう。今年から施行される新農政では基本的に政府補助は担い手に集中します。農業の農業企業化の前触れとなり、農業にも経営感覚が求められます。「A」は食品の安心・安全となります。農水省は経営局、生産局、消費安全局の三局合同でG A Pの普及を促進する体制を4月からとります。この中核は最も国際的に権威のあるJ G A Pとなり、農業現場の肥培管理体制強化が図られます。**肥料業界のDNA**は何か、「D」は肥料流通多様化が生み出すダブルスタンダードでしょう。新しいビジネスモデルで新規商流を開拓する会社も増えるでしょう。契約栽培増加の中で肥培管理も含めた独自サービスを農業現場に投入することで優良農家・法人の確保の必要性が増します。「N」は農産物・肥料流通の多様化のなかで、機能無き販売業者が「中抜き」される可能性が大となります。「A」はAQUISITONのAでしょう。市場規模の縮小化のなか、生き残りから成長路線を描くため、系列を超えた事業提携、合併・統合の話しが普通に行なわれるようになると思います。既に肥料メーカーではサンアグロの誕生が象徴的ではありますが、流通面でもJ Aの統合が一層進むなかで商系の販売網でも革新的な変化がでてもおかしくない状況にあります。

このようなダイナミックな事業環境の変化は、業界内での横連携ばかりでなく食品業界と農業界の縦連携をもたらすでしょう。人口減少時代・超長寿世界を迎えて食品業界も大量販売の時代から顧客の多用な嗜好に応える体制に再整備する動きを加速させております。

（次ページへ続く）

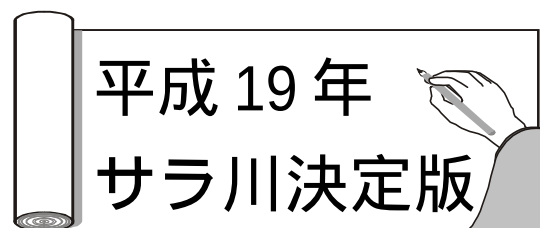


(前ページより続く)

コールドチェーンを中核とした食品流通改革は自らのコスト削減努力に加え、大型契約栽培を通しての「農業生産者の意識改革(契約順守)」と「農業現場の新たな栽培形態」を求めてくるばかりでなく自ら農業に参入する準備をしてくるでしょう。消費者の多用な嗜好はGAPによる安心・安全な農業ばかりでなく、美味しさを求めます。また「選ばれる農家」のコンセプトでは農業再生産コストをカバーするは難しく、「選ばせる農家」のコンセプトが必要となります。肥料流通業者は国産肥料メーカーと共に、農業で一番難しい農産物マーケティングに資する農業現場へのサービスの充実を図ることが不可欠かと思慮します。

最後になりますが、農業は総ての産業の基盤であること、また人々の心の故郷であることを念頭に置き、肥料流通を中核とした農業関連事業に携わっていることに高い誇りと夢を抱き事業に邁進されますことを祈念して年頭の挨拶に替えさせていただきます。





新春恒例サラリーマン川柳。今回も第一生命の「私が選ぶサラリーマン川柳ベスト100」より当紙が選んだ傑作首をお送りする。(川柳・雅号は、応募者の表記に従っている為、一部当て字等での表記で掲載)

●2007年問題はすぐそこです・・・

妻の口 マナーモードに 切りかえたい (ポチのパパ)
妻の顔 昔モナリザ 今ムンク (夫のさげび)
年金の 出る頃妻は 家を出る (桂馬)
片付ける! 言つてた上司が 片付いた (清掃業者)

●時代の流れについていくのもやっとです

メイドカフェ 冥土の土産に 行つてやる (うちのじいちゃん)
大画面 見やすい距離は 台所 (施米今男)
ブログって インターネットの 付録なの (パソコン音痴)

●食糧問題は深刻なようです

昼食は 妻がセレブで 俺セルフ (一夢庵)
二歳だろ トロウニ 選ぶな 卵食え (読み人知られたがらず)
飲みません 個人情報 喋るから (瓶首)
ケンカした 弁当開けた カラだった (哀妻弁当)

●今年も張り切っていきましょう!

撒飛ばし 部下のヤル気も 消しとばし (平社員)
見切りつけ 辞めた会社が 成長し (先見の明暗)
違うけど 社長が言うから そうですね (イエスマン)
給料も あるといいのに リバウンド (けんちゃん汁)



新年明けましておめでとうございます。本年も鮮度の高いニュースを皆様にお届けすべく編集局一同、努力して参りますので旧倍のご愛顧を賜ります様、宜しく願い申し上げます。

編集局長：吉野友隆 アシスタント：助川尚子

電話：03-5802-2011/E-mail：journal@mcagri.co.jp URL http://www.mcagri.jp